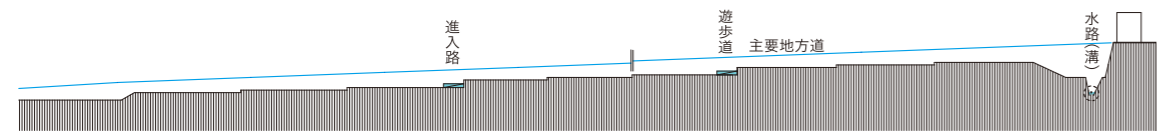
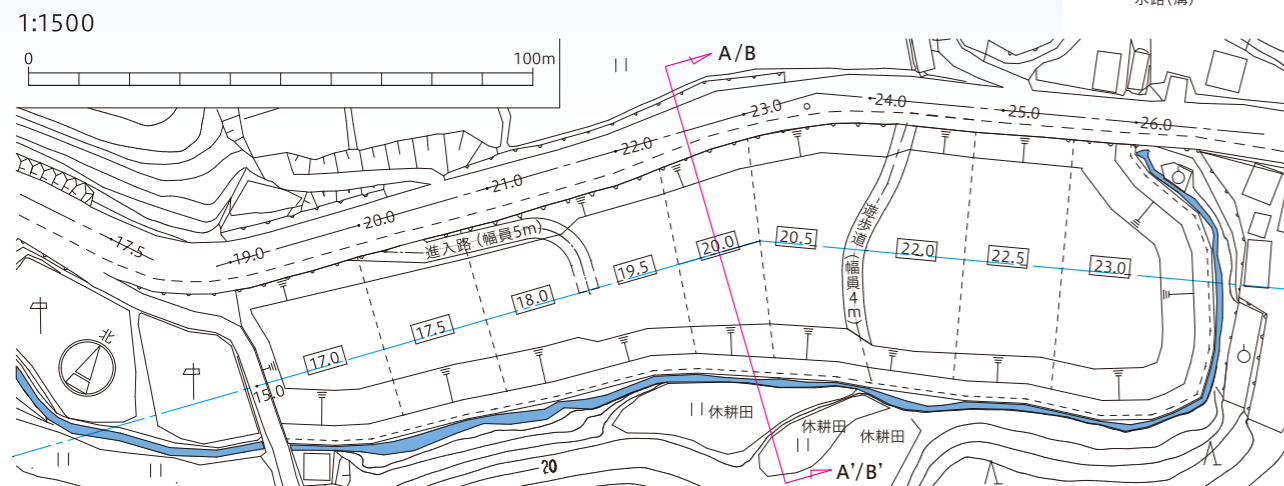
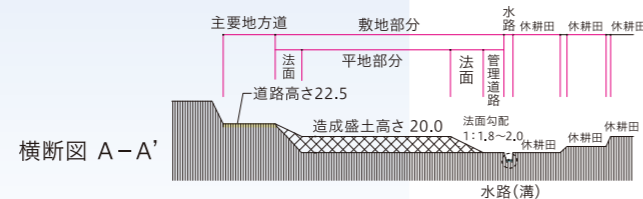




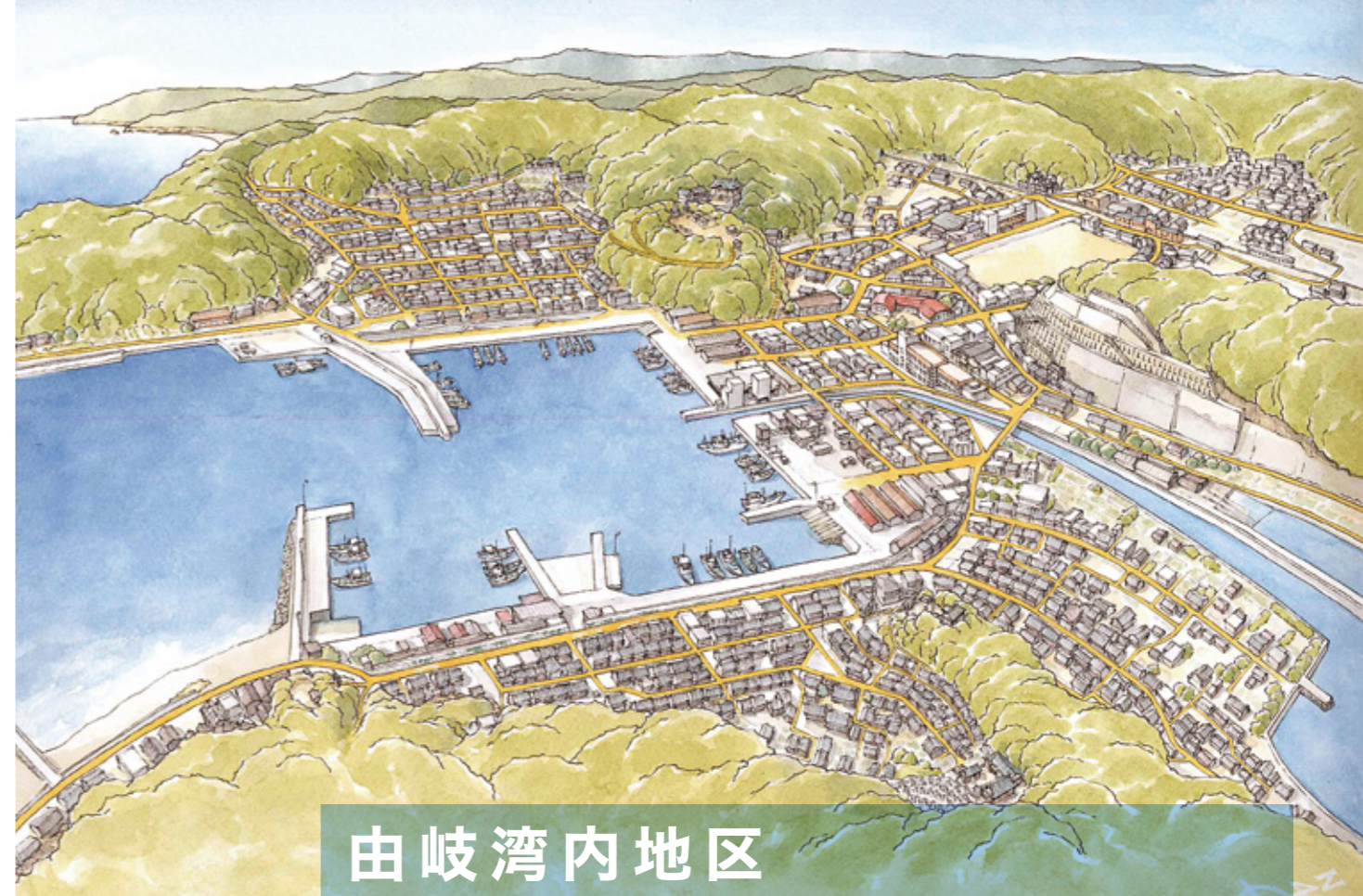
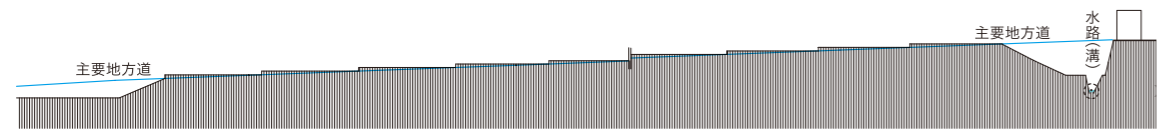
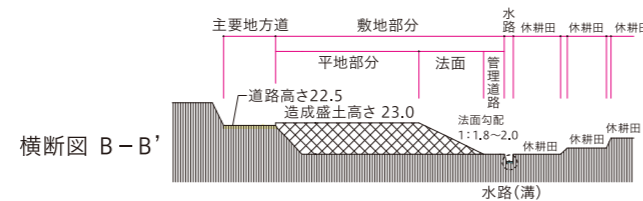
造成計画 A型

平地部分面積:約5,000m²
敷地面積:約8,200m²



造成計画 B型

平地部分面積:約4,800m²
敷地面積:約8,200m²



由岐湾内地区 住宅・住宅地計画コンペティション 事前復興まちづくりの試みとして

美波町由岐湾内地区では、2012年から自主防災会が中心となって「事前復興まちづくり」[*1]に取り組んでいます。その中の最重要課題である“震災前過疎防止”[*2]を目的とする高台造成候補地を対象とした住宅・住宅地計画をコンペティション方式で募集します。

津波に対して安全な高台造成候補地(現在は水田)を対象敷地として用意し、コンペティションにより、美波町民のための『防災機能を併せ持つ安全・安心で魅力ある居住環境像』をご提案ください。

ご提案いただく住宅・住宅地には、地域の将来を担う美波町内の若者世帯(美波町内に親世帯が居住)に優先的に入居してもらうことで、親世帯と近居関係を築き、平常時はお互いの世帯の生活を支え合い、災害時には若者世帯が親世帯の避難先となって親世帯の生活再建を助けることを考えています。

[*1]:「事前復興まちづくり」とは、まちを次世代に継承するため、まちのリスク(南海トラフ巨大地震・津波[自然災害リスク]と人口減少・過疎・少子高齢化[社会リスク])を受け止め、震災前から復興を含めたまちの将来像を共有し、復興対策や地域活性化に取り組むこと。

[*2]:“震災前過疎防止”とは、徳島県が2012年に公表した南海トラフ巨大地震が発生した際の津波浸水想定を受けて、震災前から特に地域の将来を担う若者世帯が安全・安心な住宅・住宅地を求めて地域外に転出、過疎化に拍車がかかることを防止すること。

コンペティションの趣旨にかなう

魅力的なモデル住宅で構成され、

防災機能を併せ持つ、住み継がれる

住宅地計画を提案してください。

募集内容

1. 対象敷地・造成計画A型に若者世帯の『モデル住宅』を計画。
2. 良好な近隣関係が生まれやすいように、それを敷地全体に15戸配置。
3. その対象敷地内に、15戸を含む近隣既存集落と由岐湾内地区の防災のための施設、例えば「避難所になる集会所など」を計画。

応募登録者は、(公社)徳島県建築士会が運営する「木造建築学校」の一環として実施されるフィールドワークに参加できます。

●フィールドワークの内容

1. ごっつい由岐の未来づくりプロジェクトチームの方と対象敷地を見学し、提供資料③④⑤⑥⑦⑧の説明聴講。
2. その後、事前復興高台移転の先行事例で木岐にある「こうのすまい(ドミトリー聖ヶ丘)」での宿泊体験参加。
3. 翌日、町産材・県産材を活用した事前復興住宅、まちづくり演習をおこなう。(3)は主に学生対象。

●演習内容

1. 県産材利用の基礎知識について
 2. 由岐地区の古い町並みについて
 3. 地域住民の自主防災活動と課題について
 4. 普段使いができる先行高地移転について
 5. 計画敷地周辺の説明と現地調査
 6. 地域住民との交流ワークショップ
- 現地見学会+こうのすまい宿泊体験を終えた時から、コンペティションがスタートします。

*「ごっつい由岐の未来づくりプロジェクト」とは、美波町由岐湾内地区で、由岐湾内地区自主防災会連合会が取り組んでいる事前復興まちづくりのプロジェクト名称。

応募者資格

自ら本応募案を創作する個人またはグループ、団体とします。ただし、当コンペティションの趣旨を良く理解した後に応募していただくため、応募登録後、現地見学会・こうのすまい(ドミトリー聖ヶ丘)宿泊体験の参加を基本とします。

設計条件

●対象敷地
主要地方道(県道):由岐大西線沿いの田地、約8,200m²。
想定している造成計画A型とします。他に、B型や全く別の造成計画を考えて提案をしていただいても構いません。
A型以外を選択した場合には、選定理由を記載(500文字程度)してください。

*なお、県道反対側の水田は、この住宅地の入居が進み、希望があれば家庭菜園としての貸し出しや、さらに発災時には、湾内地区からの避難住民を受け入れる仮設住宅建設用地としての提供も考えられています。

●必要施設
住宅15戸。
避難所になる「みんなの家」のような集会所、備蓄倉庫など。
発災時にも有効な再生可能エネルギーを利用した設備など。
団地内道路(幅員4m以上)、小公園(敷地面積の3%以上)など、自由に提案してください。

●想定家族
二人(若者世帯) *将来は子供のいる家族世帯となります。
美波町内に居住する親世帯(家族)との近居のすまいを求める若者世帯(夫婦)

●住宅規模:100m²～120m²程度

●住宅形式
階数・一戸建て・長屋建て・共同建てなど、自由に計画してください。店舗等の併用住宅も可とします。

●住宅敷地:約165m²(50坪)

●住宅の戸数:15戸

●住宅の構造:住宅は町産材・県産材を使用した木造とします。

●住宅配置計画
近隣との関係性に配慮し、魅力的な住宅地計画づくりに役立つ『モデル住宅』を一戸計画し、それを対象敷地に15戸を展開配置した提案としてください。
なお、家族構成の変化にも対応できる住宅計画としてください。

コンペティションの方法

公開エスキス競技方式

*エスキスとはフリーハンドを含むスケッチ程度の図案です。

提出物

A1版(841x594mm)用紙1枚(片面)にまとめてください。
縮尺、表現方法は自由とします。計画意図を500字程度で、応募用紙内に記載してください。
応募作品の裏に、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入してください。
応募作品は、未発表のものに限ります。
なお、データによる提出はできません。

著作権

応募設計図の著作権は応募者に帰属します。コンペティションに関して必要な公表(出版を含む)にあたっては、主催者がその権利を行使できるものとします。

質疑応答

質疑応答は行いません。

提供資料

建築士会HPからダウンロードしてください。
http://toku-sikai.com/

- ① 附近見取り図
- ② 造成計画A・B型の地形図、造成断面図(1/300)
- ③ 事前復興まちづくり計画における高台造成の候補地検討について
- ④ 「次世代に継承したいものを考えるワークショップ」ごっつい由岐の未来づくりプロジェクトチーム
- ⑤ 「こうのすまい(ドミトリー聖ヶ丘)」について

●参考資料

- ⑥ 美波町防災まちづくり計画
- ⑦ 美波町津波避難マップ
http://www.town.minami.tokushima.jp/minami-map/
- ⑧ 海部の古い町並み
(徳島県海部郡内6地区の伝統的な街並み調査報告書 / 平成25年3月)
- ⑨ 浸水前提まちづくり～美波・由岐湾内地区が計画～
(朝日新聞7月4日)
- ⑩ 津波対策で高台移転～美波の特養～
(徳島新聞8月5日)

応募登録締切

平成27年9月30日[水]

登録用紙は建築士会HPからダウンロードできます。
必要事項を記入のうえ、建築士会宛て、**FAX:088-624-1710**
またはメール **yukicompe-sikai@md.pikara.ne.jp** までお送りください。

確認後、応募番号をFAXまたはメールで返信します。

提出締切

平成27年12月15日[火]午後5時

郵送の場合は、当日消印有効とします。

提出先

〒770-0931
徳島市富田浜2丁目10番地 徳島県建設センター5階
公益社団法人 徳島県建築士会
由岐コンペ事務局

審査結果発表

平成27年12月21日(昭和南海地震69周年記念日)、美波町役場内
応募者全員に文書で通知する。また、入賞作品、審査評、全応募作品を美波町役場内において、平成28年1月中旬から公開展示します。

審査員^[敬称略]

影治信良	美波町長
酒井勝利	美波町自主防災会連合会会長
新聞悦博	造成候補地提供者
山中英生	徳島大学大学院教授
佐々木隆雄	徳島県木材協同組合連合会理事長
佐藤幸好	(公社)徳島県建築士会長

賞

最優秀賞他、(最大で)7作品程度を選定	
最優秀賞	賞状及び賞金10万円
優秀賞	賞状及び賞金3万円
学生	賞状及び賞金3万円

*最優秀1、優秀3、学生1、(審査会により)造成計画B型1とその他造成計画1

造成計画B型、その他造成計画案は審査会の判断とします。
なお、応募者全員に記念品を進呈します。

表彰

平成28年1月15日(金) 美波町役場内

主催

ごっつい由岐の未来づくりプロジェクトチーム、美波町、徳島大学、公益社団法人徳島県建築士会

その他

作品の返却を希望される方は、平成28年3月31日までの間に建築士会まで取りにきてください。

●問い合わせ
建築士会 由岐コンペ事務局 TEL: 080-8634-2322

